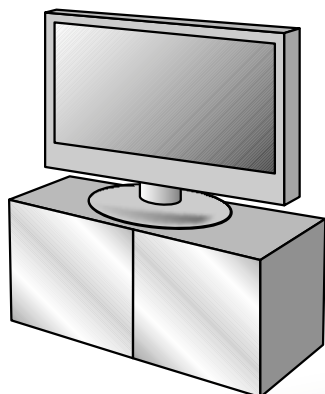


は南丹市の未来を開きます



今年から本格的に市内に光ケーブルが張り巡らされ、地上デジタル放送やインターネットなど、高度な情報通信基盤が整備されることとなります。特にCATV(有線テレビ)の活用による自主放送番組の充実によって、人と街がより元気につながり、南丹市の新しい一歩を刻みます。

【未来の扉を開ける CATV】

南丹市地域情報通信基盤整備事業により市内が光ケーブルで結ばれることで、緊急時において瞬時に情報を伝えたり、さまざまな情報をみんなで共有することができるようになります。また、何より地域と人が結ばれることにより、広い南丹市でテレビを通じて市民が一体化していくことができます。そして、そのことが地域コミュニティの活性化につながっていくのではないのでしょうか。

光ファイバーによる情報通

一方、保育所や幼稚園、小・中学校の行事も放送されますので、家に居ながらにして子どもたちの様子を知ることができます。聞きたかった講演

信網の整備は、都市部との情報格差の是正にとどまらず、南丹市の未来の扉を開ける大切なシステムです。

【鍵を握る自主放送番組】

市では、自主放送番組の制作も積極的に行っていきます。自主放送番組の中心は、市内のニュースです。これを通して市民の皆さまに、市で起きている出来事をお知らせします。また、ニュースの中でも

会に行けなくても、ビデオに録画しておけば、空いている時間にいつでも見ていただけます。

ニュース番組以外にも、随時特別番組を制作していく予定です。その中には、南丹市の「ひと」や「自然」を取り上げた楽しい番組も放送していきます。すでに、旧園部町内では「9チャンネル」の愛称で親しまれている自主放送チャンネルで、こうした番組が放送されており、市民の皆さまに好評をいただいています。

【特別番組の活用を】

市では、さまざまな自主放送番組を通して、市民の皆さまの持つ特技・趣味、あまり知られていない南丹市の素晴らしい自然や風物などを放送していきます。まさに「百聞は一見に如かず」、きれいな映像と音声により文字では伝えられない情報を伝えていきます。満一歳の南丹市ですが、皆さまの新しいふるさと「南丹市」のよさを再発見してください。

「南丹市にこんな人がいるの!」、「こんな事ができる人が身近にいるんやね」そんなテレビを通じた思いから、新しい人と人とのつながりが生まれ、それが新しい絆となつて、新しい文化の輪につながっていくばと願っています。

大堰川の風景や名勝「るり溪」、「日吉ダム」や「かやぶき民家」、「菅生の原生林」をはじめ南丹市には、まだまだ知られざる自然がたくさんあります。

「市内にこんなきれいなところがあるの」、「身近なところにとくさんの自然が残っているね」と感じていただけるよう、市では番組を通して四季折々の豊かな自然、かけがえない風景を市民の皆さまに紹介していきます。

これら以外にも、市民参加の番組制作や企画にも市民の皆さま、積極的に参加してください。

【全国へ情報を発信】

全国へ向けての情報発信にも、ケーブルテレビは大きな